

旭陽中学校



写真■木造バラック校舎（昭和22年（1947）4月頃）

旭陽中学の歴史

大阪市立旭陽中学校は、昭和22年（1947）4月大阪市立旭第一中学校として高殿小学校分校に併設され、昭和24年（1949）5月旭陽中学校と改称された。その当時、校舎は高殿小学校の一部併設と高殿商工実科女学校の校舎を使用することになった。

仮校舎は雨が漏り、風が吹き抜ける木造のバラック校舎で、昭和22年（1947）4月20日入学式後、2教室で第一回の職員会が開かれた。その後PTAの総会も2教室の間の板や黒板を外し広くして開かれ、終了後にはまた、黒板などをつけて2教室として授業が出来るようにした。

生徒数は1,320名、学級数26の当時新制中学でも

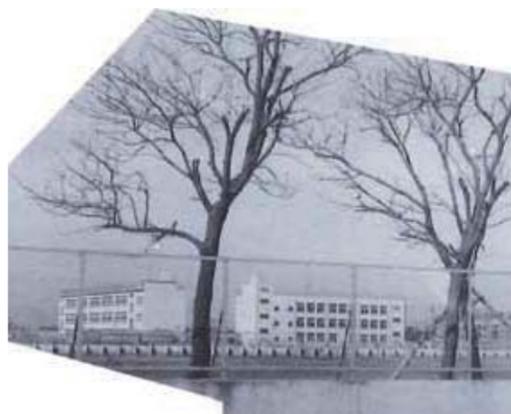
屈指の大世帯であった。通学区校下は高殿・大宮・清水・古市小学校の卒業生を収容し、広大な範囲に渡っていたが、大宮中学校、旭東中学校の設立により、その後高殿・大宮校下の生徒を収容した。

昭和26年（1951）11月18日文部省指定のモデルスクール建築目標のもと、現在地に新校舎起工式を挙行し、昭和27年（1952）10月18日落成式を行い、引っ越しをしたが、全生徒の収容力がないので1年生は分校舎、2、3年生のみが新校舎で授業が実施された。

その後各関係者、PTA、校下各位の絶大な援助支援により第2期・第3期工事を経て、昭和28年（1953）夏にはモデルスクールにふさわしい校舎が完成した。



写真■思い出の部屋



写真■新しい校舎（昭和28年 夏）

昭和22年（1947）4月 学校制度改正

以前、尋常小学校の6年間で義務教育でした。小学校卒業後は、約2、3割が中学校（5年）へ行き、4割が高等小学校高等科（2年）へ、その他の人は仕事に就きました。

大半の人は、高等小学校高等科を卒業（13歳～16歳）すると、海軍水兵学校や陸軍各種学校、大手企業の職業訓練所に入るか、仕事に就くことが一般的でした。

中学校入学後、2年生になると陸軍幼年学校（普通科、商業科、工業科）へ行き、その後4年生～5年生にな

ると海軍兵学校に入学することができました。その他の人は高等学校をはじめ、高等工専、高等商専、師範学校、高等師範学校、大学に入学をするか、仕事に就く人が多く見られました。

学校制度の改正後は、小学校（6年）、中学校（3年）が義務教育になりました。

コラム 高殿の思い出

今から五千年前、高殿の周りは海でした。深い地面の中から貝殻などが見つかるなど、そこからも想像できます。高殿小学校付近では「洲」になっていて、「南島」と呼ばれていたそうです。

南島に大宮神社があり、境内にあった一番高いところに建てられた建物跡の所に、高殿と名前がつけられました。大宮神社より高殿小学校前を通り、高殿4丁目の京街道に参道があり、高殿4丁目の高殿小学校付近に鳥居がありました。道の脇には井路川が流れていたとの事です。

また、高殿南は全体が湿地帯で井路川が網の目のように流れていた田沼地で、水に通じた農作物を耕作していたと思われます。内代、関目、南島、中村に住んでいた人々は、三枚板と呼ばれる5メートル位の舟を

使い、水路を利用して出来た作物や肥料の移動手段として井路川を利用していました。現在、ほとんどの井路川は埋められて道路となっています。

高殿は、低農村地域から労働集約町へ変化し、2千人口から10万人口へと交通の便利な町になりました。大阪市営バス、地下鉄（谷町線と今里筋線）、京阪電車が走っています。国道1号は東へ行くと東京まで、西は梅田新道へ、国道2号で下関や九州へ。

阪神高速道路が走り、名神、中国道、山陰道へと連絡して住みよい町となりました。

昭和50年（1975）に高殿小学校の児童が1千6百人を超えたため、昭和55年（1980）に高殿南小学校ができました。

【近代～現在の高殿】

- 明治43年（1910）：新淀川開削工事が完了
- 明治43年（1910）：京阪電車が開通（天満橋～京都五条間）蒲生、野江、森小路の各駅
- 昭和2年（1927）：国道1号舗装工事が始まる。
- 昭和3年（1928）：区内初市バス（片町～森小路）、（東野田6丁目～森小路1丁目）。
- 昭和6年（1931）：市電開通（都島～守口）
- 昭和7年（1932）：旭区誕生（東成区分区）
- 昭和32年（1957）：今里～守口間トロリーバス運転開始。ダイエー1号店が千林に開店。
- 昭和52年（1977）：地下鉄（都島～守口）

コラム 旭公園

旭公園とその一帯は広域避難場所に指定されています。敷地が広いので、災害時には旭区の中心的な救護場所となりますが、高殿地域の避難場所である旭高校、旭陽中学校、高殿小学校に隣接していることや地下に災害備蓄倉庫を装備した「旭区民センター」が近くにあるなどからも、旭公園は災害対策面において重要な公園であると言えます。

旭区民センターと併設されている大阪市立芸術創造館は、演劇や音楽などの芸術表現などの活動を支援する目的で整備された大阪市内でただ一つの市営施設です。



写真■旭公園にて

旭公園には、平面テニスコート、旭スポーツセンター、プールなどの施設があります。行事として、区民まつりが開催されるほか、連合町会でのソフトボールやキックベースボールが行われるなど、多くの人が楽しんでいます。